一般質問 市政のここを問う

この定例会では、６月９日、10日及び13日の３日間で、18人が登壇し、39項目にわたり、市政全般についてただす一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順）　※が掲載した項目です。

清水　俊安　議員
1　道路・河川整備の状況について
※2　災害における避難所についてAED設置について
※3

加藤　廣行　議員
※1　市民の健康管理について

上田　昌哉　議員
1　子どもを取り巻く環境について
※2　刈谷城復元について
3　プレーパークについて

新村　健治　議員
※1　平和行政の取り組みについて
2　18歳までの医療費無料化について
3　刈谷スマートインターチェンジ設置について

白土　美恵子　議員
1　ごみ減量の取り組みについて
※2　地震対策について
3　地域で支え合う仕組みづくりについて

山本　シモ子　議員
※1　子どもを取り巻く保育の充実について
2　市民のくらしを応援する公営住宅の促進について
3　子どもたちが豊かに育つ教育整備の充実について
4　マイナンバー制度の運用状況について

伊藤　幸弘　議員
※1　地域自主防災活動への行政支援について
2　保育士・介護士の確保について

星野　雅春　議員
1　熊本地震の教訓について
※2　市街地拡大事業について
3　健康施策について

外山　鉱一　議員
※1　一般廃棄物減量への取組みについて

鈴木　正人　議員
※1　災害ボランティアについて
2　自治会について

鈴木　浩二　議員
※1　行政経営改革プランについて

鈴木　絹男　議員
※1　地域の活性と人・まちづくりについて
2　刈谷駅北地区の再開発について

渡邊　妙美　議員
※1　女性活躍推進について

加藤　峯昭　議員
※1　大手公園の利活用について
2　下水道事業について

すべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。
「刈谷市議会」で検索し、**「議会映像を見る」**をクリックしてください。

清水　俊安　議員
高齢者や体の不自由な方のために避難経路の整備を
―他市の事例を参考に今後検討していく―
（主な答弁者・・・生活安全部長）

問　神社として唯一、神明神社が津波発生時の避難場所に指定されている。高齢者等が避難することを考え、勾配が急な参道に手すりやスロープなどを設置する考えはあるか。

答　市が民有地に直接工作物等を設置することは難しい。

問　他市では自主防災会への補助事例があるが本市はどうか。

答　自主防災事業補助金制度の補助対象となるため、他市の事例を参考に今後検討していく。

問　市内の福祉施設におけるAED設置状況は。

答　本市の福祉施設は保育園を含め27施設で、全施設に設置済みである。また、民間の福祉施設30施設のうち設置済みが16施設、未設置が11施設、隣接する関連施設により対応可能としている施設が３施設である。

問　今後、民間施設での設置が増えると予想される。人命救助の観点から他市で既に実施されているパッド無償交換の実施を本市でも検討願いたい。また、未設置の施設もあるが設置基準等はあるのか。

答　厚生労働省のガイドラインでAEDの設置が推奨される施設の例として、高齢者のための介護福祉施設が挙げられており、50人以上の高齢者施設などの高齢者のための施設では、AEDの設置が望ましいとされている。なお、市内の福祉施設のうち、ガイドラインで示されている施設については全てAEDが設置されている。

加藤　廣行　議員
がん検診後の精密検査未受診者に対する手厚い対応を
―電話や手紙で随時受診を促すなど、勧奨を行っていく―
（主な答弁者・・・福祉健康部長）

問　本市で行っている、がん検診の種類と対象年齢はどのようになっているか。

答　国の指針に基づく、がん検診として、40歳以上の男女を対象にバリウムでのレントゲン検査による胃がん検診、便をとって血が混ざっていないかを調べる大腸がん検診、胸部レントゲン検査による肺がん検診を実施しており、40歳以上の女性を対象にマンモグラフィーによる乳がん検診、20歳以上の女性を対象に細胞を採取して調べる子宮がん検診を実施している。また、市独自のがん検診として、40歳以上の男性を対象に血液検査による前立腺がん検診と30歳以上の女性を対象に超音波検査による乳がん検診を実施している。

問　本市では、胃がんのリスクを減少させると言われているピロリ菌検査を実施していないが、今後実施を検討していただきたい。また、がん検診は、要精密検査となった後の精密検査が大切である。精密検査によるがん発見数と精密検査未受診者への対応は。

答　平成26年度の精密検査によるがん発見は、胃がん６人、大腸がん26人、肺がん２人、乳がん12人、子宮がん２人、前立腺がん36人となっている。また、精密検査未受診者への対応として、保健センターから電話による随時受診勧奨を行っている。また、電話でコンタクトのとれない方へは手紙による受診勧奨を行うなど対応している。

平成28年度　刈谷市がん検診等受診票
★２ページ以降をご覧になり、ご希望の検診をお受けください

見本

〈注意事項〉
1　検診に関わる個人情報は保健事業以外には使用しません。
2　精密検査が必要となられた場合は、その結果について、刈谷市から本人様及び医療機関に問合せをすることがあります。

対象者と検診の種類	刈谷市民（検診受診日時点で刈谷市に住民登録をしている人） 各検診の対象者の詳細は次ページをご覧ください。
実施場所・予約先	市内の指定医療機関（４～７ページ参照） 受診前に、希望の医療機関に予約してください。
受診期間	平成２８年４月１５日～平成２９年２月２８日 （但し、医療機関の休診日を除く） ※大腸がん検診は、便の提出期限が平成２９年２月２８日です。

問合せ先：刈谷市保健センター
〒448-0858　刈谷市若松町３丁目８番地２
電　話　（０５６６）２３－８８７７　　ＦＡＸ　（０５６６）２６－０５０５

対象者に配付されるがん検診等受診票

上田　昌哉　議員
刈谷城復元について市民との話し合いの場を
―シンポジウムを開催し、意見交換の場を設ける―
（主な答弁者・・・都市政策部長）

問　刈谷城を復元する意味は何か。

答　亀城公園を歴史や文化を感じる空間として整備することは、魅力あるまち、誇りを持てるまちにつながっていく。また、子どもたちが郷土に愛着を持つためのシンボル的な施設とする。

問　コストが上がっている時期になぜ進めるのか。

答　市制70周年を記念する事業として位置づけている。

問　刈谷城復元の資金として税金以外のものは考えているか。

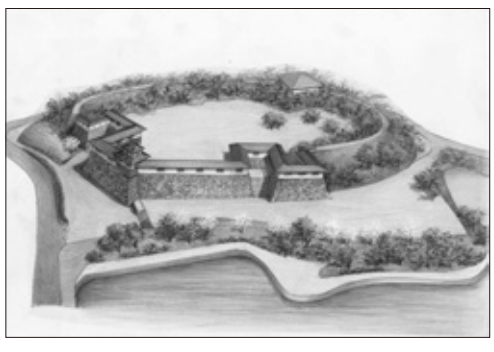
答　市民や事業者などからの寄附金を始め、国庫補助金の活用を考えている。

問　市役所に寄せられた意見について、どのように感じているか。

答　寄せられた意見を通じて、事業に対して一定の理解を得ているものと認識している。

問　タウンミーティングやシンポジウムは開催するのか。

答　事業に対する理解を深めていただくためにシンポジウムの開催を予定しており、その中で市民との意見交換の場を設けていく。



刈谷城復元イメージパース

問　一部復元となっているがなぜか。また事業費30億円という数字は周知されているか。

答　まずは、刈谷城復元の象徴的な施設である辰巳櫓と多門櫓の一部、石垣の整備を行っていく。事業費については先の３月議会で報告し、ホームページ上でも公開しているが、今後、より詳細な事業費を示していく。

新村　健治　議員
平和行政をさらに進展させるため非核自治体宣言を
―原爆パネル展など平和を推進する事業に取り組む―
（主な答弁者・・・総務部長）

問　本市では平和行政について、どのような取り組みをしているのか。

答　あいち平和行進団の受け入れをはじめ、終戦記念日に黙祷の呼びかけや市庁舎での原爆パネル展を開催している。また、昨年１月１日に平和首長会議に加盟し、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を目指す本市の姿勢を市内外に広く示している。

問　平和首長会議に加盟した